

Press Release

2008-03-11 No.08-02

曙ブレーキ、「中部オフィス」の竣工式を実施

曙ブレーキ工業株式会社(代表取締役社長:信元久隆 本店:東京都中央区 本社:埼玉県羽生市)は、従来、営業機能の拠点であった「名古屋営業所」(愛知県豊田市)を全面改築するとともに、業務改革をコンセプトに、新たに品質部門、開発部門などの本社機能と常時連携がとれる機能を有した新しい拠点として再構築し、名称も「中部オフィス」と変更して、3月11日に竣工式を実施しました。

「中部オフィス」の主な特徴としては、自動車メーカーなどのお客様からの品質に関するお問合せに迅速に対応するために初動調査室を設置したほか、開発段階でのお客様とのデザインレビューができる専用スペース、お客様とインフォーマルなコミュニケーションを図るためのミーティングルームやカフェ、お客様にくつろいでいただく空間であるとともに製品展示やプレゼンテーションなど多目的に使用できるエントランスホールの設置、ブレーキ基礎知識教育のための教育巡回車の常設などがあります。

また、社員の執務室は従来の固定席ではなく、埼玉県羽生市にある本社と同様、必要な時に必要なメンバーが必要な期間集まれるフリーアドレス制(リキッドオフィス)とし、業務の効率化を推進していきます。さらにはIT技術を駆使し、常態接続テレビ会議システムを導入したことにより、本店、本社、グループ海外拠点とのスピーディな連携を可能としています。

このような機能を有することで、「中部オフィス」が曙ブレーキグループと中部地区のお客様との関係を、さらに強化するための重要な架け橋となることを目指しており、その思いから「中部オフィス」の呼称を「Akebono Central Pier (ACP:アケボノ セントラル ピアー)」としました。

なお、建屋はガラス張りとホワイトを基調とした内外装による斬新なデザインとし

景観に配慮するとともに、CO² 排出量の削減を考慮し地下水を利用した冷房設備を導入するなどの環境対策も施しています。